

2020年度 日本インターンシップ学会東日本支部 第1回研究会プログラム

◆ 概要 ◆

テーマ：コロナ禍におけるインターンシップを考える

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの大学や企業等でインターンシップの実施中止や見直しが行われている状況にあります。このような中にあっても、インターンシップの実施について検討がされており、オンライン形式や3密を避ける形で感染防止策を講じての対面形式など、様々な受入形態が模索されています。そこで東日本支部では、コロナ禍における新しいインターンシップの可能性と課題について、実際の取組事例を基に、オンライン形式による意見交換を行いたいと考えております。

東日本支部以外の支部会員も歓迎致します。また、日本インターンシップ学会非会員の方も事前登録をしていただければ参加できます。皆様のご参加をお待ちいたしております。

日本インターンシップ学会 東日本支部長 松坂 暢浩（山形大学）

【日 時】 2020年7月26日（日）13：00～15：00

※研究会終了後に、支部総会（15：00～16：00）を実施いたします。

【形 式】 オンライン（Zoom）開催

【参加費】 無料（先着80名まで）

【申込方法】 研究会に参加希望の方は、7月20日（月）までに、以下のgoogleフォームよりお申し込みをお願いいたします（必要事項のご記入をお願いいたします）。

<https://forms.gle/hLY4bvEsZoFk7Cze6>

【当日の参加方法】

前日までにzoomのミーティングID、パスワードをご登録いただいたメールアドレスに送信いたしますので、開始時間までにアクセスをお願いいたします。（開始20分前よりアクセス可能となります）

【アンケートご協力をお願い】

皆様のコロナ禍におけるインターンシップの課題等を踏まえて、意見交換ができればと考えております。恐れ入りますが、下記のサイト（または右記QRコード）よりアンケートにご回答ください。

アンケートサイト：<https://reas3.ouj.ac.jp/reas/q/64668>



◆ スケジュール ◆

13:00-13:10 東日本支部長挨拶と趣旨説明

13:10-13:50 コロナ禍における新しいインターンシップの取組事例

「ミライシップによるオンラインインターンシップの取組み

—目白大学メディア学部の事例を中心に—

ミライシップ プログラム開発室 室長 野村 尚克氏

ミライシップ 代表 眞野目 悠太氏

コロナウィルスの影響でインターンシップの実施が難しくなったが、授業と同様にオンラインによって行うことも可能である。ミライシップでは大学のインターンシップも行っているが、目白大学メディア学部の事例を中心にオンラインインターンシップの取組み事例や状況について概説する。

13:50-14:00 休憩

14:00-14:50 質疑応答および意見交換

14:50-15:00 総括

お問い合わせ

〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1 目白大学メディア学部メディア学科 牛山研究室内

日本インターンシップ学会東日本支部事務局（担当：牛山、上岡）

電話 0359963130

E-mail jsikanto@gmail.com

*お問い合わせはできるだけメールでお願い致します。